

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 三篠川 災害復旧助成事業に係る詳細設計業務(その5)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 河川 護岸

ボーリング名	No.5-2	調査位置	広島市安佐北区 白木町 井原地先 (5工区 No.24+9.0)	北緯	34° 35' 34.5260"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 6月26日～ 令和2年 7月 2日	東経	132° 40' 56.4280"
調査業者名		主任技師		現代場代理人	
コピ定者		ボーリング責任者			
孔口標高	150.40m	角		使用機種	東邦地下工機D-1型
総削孔長	13.00m	度		エンジン	ヤンマーディゼルNFD13-EK
				ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日			
											深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試料採取番号						
1			礫質砂			暗茶	rd2		植物根を多く含む砂。 礫は、φ20～100mmの角礫～亜円礫である。	6/27	22	1.15	6	7	9	22	300	1.15	P5-2-1	○	密度 含水量 粒度	6/28
2						茶灰	rd3		砂は、細～中砂を主体とする。 礫は、φ20～50mm程度の亜円礫～円礫を主体とする。	50以上	2.15	15	16	19	50	280	2.15	P5-2-2	○	密度 含水量 粒度		
3			玉石			青灰	rd5		φ75～300mm程度の硬質な玉石が分布する。 最大コア長は、20cm程度である。	6/27	15	3.15	4	5	6	15	300	3.15	P5-2-3	○	密度 含水量 粒度	7/1
4	146.40	4.00				明茶	rd5		礫は、φ2～50mmの亜円礫～円礫を多く含む。 砂は、細～中砂を主体とする。	50以上	2.43	4.00	貫入不能	0	0	0	0	0	0	2.43	P5-2-4	
5	144.60	5.80	粘性土質礫質砂			明茶	rd5			6/27	50以上	5.00	50		50	100		5.00	P5-2-5	○	密度 含水量 粒度	7/2
6						24	6.15	5	9	10	24	300	6.15	P5-2-6	○	密度 含水量 粒度						
7			50以上	7.15	14	16	20	50	290	7.15	P5-2-7	○	密度 含水量 粒度									
8			36	8.15	9	12	15	36	300	8.15	P5-2-8	○	密度 含水量 粒度									
9			39	9.45	9	10	20	39	300	9.45	P5-2-9	○	密度 含水量 粒度									
10			50以上	10.15	15	17	18	50	270	10.15												
11			50以上	10.42						10.42												
12			50以上	11.10	15	20	15	50	280	11.10												
13	137.40	13.00	50以上	11.38						11.38												
			50以上	12.10	14	20	16	50	270	12.10												
			50以上	12.37						12.37												
			50以上	13.10	15	35	50	190		13.10												
			50以上	13.23						13.23												